

(様式4)  
令和5年2月28日

## 令和4年度 第3回 大阪市立南恩加島小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立南恩加島小学校  
校園長名 樋口 和弘

日 時	令和5年2月28日 (火)					
場 所	南恩加島小学校ミーティングルーム					
出席者	委員	北村 勝康 信岡 悅子 田口 純子 湯浅 芳昭				
	学校	樋口 和弘 宮地 裕吉				
	区役所					
議題	<ol style="list-style-type: none"><li>「運営に関する計画」について</li><li>大阪市学力経年調査結果について</li><li>全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について</li><li>協議・採決</li><li>その他</li></ol>					
協議要旨	協議の結果			意見の概要		
	1	「運営に関する計画」について			○いじめは100%解決されているとあったが、児童の中では自分がいじめをしていると思っていない子もいる。自分の口では訴えることやアンケート等で出てこない「ひそんだいじめ」があるので、学校は家庭との連携、児童に目配りを行いいじめについてこれまで以上に取組んでもらいたい。また、いじめはなぜいけないのかを指導し倫理面での指導も必要である。また、社会ではスマートホンでのトラブルやいじめが後を絶えない学校でもSNSやインターネットを扱ううえでのメディアリテラシーを育てて欲しい。	
	2	大阪市学力経年調査結果について			○「学校の決まり・規則を守っていますか」の肯定的評価は90%であり、目標を上回っている。引き続き学校でも決まりを守る取り組みを続けて欲しい。しかし、不登校の課題は年々多様化し、複雑化していることから、継続して学校組織全体で総力を挙げて課題解決を目指し取り組んで欲しい。	
					○国語科の学力をつけることは全ての勉強につながるので基礎基本の定着は一朝一夕ではいかないので引き続き継続して取り組んでほしい。また、自分の考えを書き表す習慣をつける学習は非常に大切であるから引き続き継続して行って欲しい。	
					○中学年でも掛け算や加減の計算が苦手意識やつまずきを持った児童を見かける、学年が	

		上がるにつれ授業についていけなくなる児童も多くなる。日々の取り組みの中で基礎基本の計算力や読解力を定着せせる取り組み(算数であればそろばんなど)を行い基礎基本の定着に努めてほしい。
3	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今回の良好な結果が学力の向上につながることを期待している。</li> <li>○休み時間に ICT 機器を教室で使って外で遊んで児童が増えていると感じる。ICT 機器の活用と体力の向上のバランスをとれる取り組みを行ってほしい。</li> <li>○睡眠時間の短さや長時間家庭でゲームやスマートホンをしている児童の割合が多い。家庭の習慣やきまりを一年生の時期につけられるよう働きかけて欲しい。</li> </ul>
4 ・ 5	その他 学校の現況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉遣い(きつい言葉遣い、汚い言葉)を使う児童をよく見かける。言葉遣いが悪いとトラブルになることが増えるので、学校と家庭とで協力し改善していって欲しい。また、スマートホンでのトラブルやいじめが後を絶えない学校でも SNS やインターネットを扱ううえでのメディアリテラシーを育てて欲しい。</li> </ul>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「運営に関する計画」・学校アンケート(児童用・保護者用)</li> <li>・令和4年度「大阪市学力経年調査」の結果</li> <li>・令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果</li> </ul>	
備考	傍聴者[ 0 ]名	